

高専研究シーズ社会実装・創業推進事業

「KOSEN-BOOST」

募集要項



1. 実施に至る背景・目的

全国の高等専門学校（高専）には、優れた技術研究シーズや先進的なアイデアが多数存在する一方で、それらを社会実装やスタートアップ創業へと結びつけるための体制や支援枠組みは、大学等と比較して十分とは言えない現状にあります。本事業「KOSEN-BOOST」は、高専教員が主導する研究シーズの社会実装および創業を伴走支援するプログラムです。東京都の「TOKYO SUTEAM」採択事業として、専門家によるメンタリング、開発支援金の提供、経営人材・企業とのマッチング、ならびに出資機会の提供を通じ、高専発スタートアップの創出と社会課題解決に貢献することを目的としています。

2. 募集概要および対象

対象者

- ・ 全国の高等専門学校（国立・公立・私立すべて対象）に所属する教員
- ・ 教員単独での応募に加え、他の教員や高専生を含む学生、外部経営人材等を含めた「チーム応募」も可能です。

応募要件

次のすべてを満たす方を対象とします。

- ・ 所属高専の了承を得ていること。または、採択後すみやかに、兼業や研究成果（知的財産）の取扱いなど、所属機関で必要な手続きを行うこと。
- ・ 本要項の「9. 採択者にお願ひすること」および「10. 情報の取扱い」に同意いただけること。

募集件数

- ・ 10 件（辞退が発生した場合や予算状況に余剰が出た場合は、追加募集を行う場合があります）

対象領域

- ・ 高専の研究シーズを活用した社会実装・創業を目指すあらゆる分野

3. 支援プログラムの内容

採択されたプロジェクトに対して、以下の多角的な伴走支援を提供します。

1) 定期的なメンタリング

専任コーディネーターが定期的なメンタリングを実施し、研究開発および事業化に伴走します。また、必要に応じて、研究開発・産学連携・創業のプロフェッショナル、高専教員経験者、公認会計士、弁護士などの専門家・メンターとの相談機会を提供します。

2) 経営人材や企業とのマッチング支援・イベント開催

創業後の経営人材（CEO・COO 等）の獲得や、連携パートナー企業の発掘を目的とした交流会を全国各地で開催します（事業期間中に 3 回程度を予定）。また、採択者がこれらのイベントに参加する際の交通費を支給し、活動をサポートします（支給の基準・精算方法は採択後にご案内します）。

3) 開発支援金の提供

1 件あたり 50 万円～最大 100 万円の開発支援金を提供します。金額は、プロジェクトのフェーズや必要資金に応じて決定します。進捗状況により、予算の範囲内で追加支給を実施する場合があります。

- ・支給の時期・回数：採択後に計画を確認のうえ、進捗（マイルストーン）に応じて支給します。
- ・使途：本プロジェクトの研究開発・実証・事業化に必要な経費に充ててください。目的外の使用が判明した場合は、返還をお願いすることがあります。
- ・受け取りの際は、受領書・領収書等の提出をお願いします。

4) 成果発表会（デモデイ）

事業の成果を、投資家や事業会社に向けて発表する機会を設けます。2027 年 12 月頃の開催を予定しております（開催形式・会場は調整中です）。

5) 創業応援基金からの出資

本事業を通じて東京都内でスタートアップを創業した場合（本店・支店は問いません。地方高専の教員が、東京都内に本店または支店を置く形で創業する場合も対象となります）、創業にかかる経費の一部補填および成長支援を目的に、運営機関らで構成する設立予定の「創業応援基金（仮称）」からの出資を予定しています。出資形態や条件の詳細は採択者と個別に調整の上で実施しますので、希望する方は採択以降、事務局までお問い合わせください。

4. 事業期間および公募スケジュール

- ・公募期間：2026 年 10 月～ 枠（10 件）が埋まり次第終了（先着順での選考・随時採択）
- ・説明会：動画配信（公式ページ）を予定しています。また、希望者には個別相談会も実施します。
- ・審査結果の通知：書類審査を行い、応募から 2 週間程度で面談審査についてご連絡いたします。
- ・事業期間：2026 年 12 月頃～2027 年 10 月頃（予定）
- ・フォローアップ期間：2027 年 11 月～2028 年 2 月（成果発表会での発表、法人設立に向けたフォロー）

※法人の設立を目指すプロジェクトは、遅くとも 2028 年 2 月末までに登記を完了すること为目标としてください。

5. 応募方法および提出書類

以下の手順でご応募ください。

1) 応募フォームの入力

指定の Web フォームより基本情報を入力・送信してください。

Web フォーム： <https://forms.cloud.microsoft/r/3s3U3iFyvE>

2) 応募書類の提出

フォーム入力後、以下の書類を事務局宛にメールにてご送付ください。

【必須書類】 指定の応募様式（Word 形式）

【任意書類】 参考資料（ピッチ資料、研究概要説明資料など、最大 3 点まで添付可能）

提出先メールアドレス： startup@kosenmirai-lab.or.jp

3) 審査の実施

提出書類に基づく「書類審査」および「面談審査」を実施し、採択可否を決定します。面談審査は原則オンラインで実施します。

※提出いただいた書類は返却いたしません。応募に要する費用は応募者のご負担となります。

6. 採択基準（審査基準）

審査は以下の 4 つの評価軸に基づき行われ、一定の基準点を上回った提案から採択を決定します。

① 技術・シーズの独自性

研究シーズにおける技術的優位性や、既存技術に対する明確な差別化要素があるか。

② 社会実装・市場性

解決を目指す課題やターゲット市場が明確であり、社会実装に向けた道筋が現実的か。

③ 実効性・熱意

提案チームの社会実装や創業に向けた熱意が高く、事業期間内に着実な進捗が見込めるか。

④ 本事業との親和性

本プログラムのメンタリングや開発支援金を有効活用できるか。

7. 開発支援金の受け取り方法

開発支援金の受け取り・使用方法について採択者に不利益や過度な事務負担が生じない形を目指すため、受け取り方法は、採択後にご希望を伺ったうえで、個別に調整して決定します。所属高専への「受託・共同研究費等の研究費」としての受け入れのみならず、ご希望に応じて「個人、任意団体、共同研究先（企業・団体等）宛ての委託・助成金」として直接支給することも可能です。なお、応募までに決定する必要はございません。

8. 他の支援制度との併用

他の研究費や補助金・助成金（以下、研究費等）と併用可能です。併用する場合は、応募書類の該当欄にご記入ください。また、研究費等によっては併用が不可なものもございますので、各自でご確認の上、ご応募ください。必要に応じて「併用等の関係で KOSEN-BOOST の開発支援金は受け取らないが、各種支援プログラムには参加したい」という対応も可能です。詳細は事務局までお問い合わせください。

9. 採択者をお願いすること

本事業は東京都の協定事業として実施するため、成果を確認できる資料の提出が必要です。採択者の皆さまには、次の点にご協力をお願いします。

- ・事務局が行う定期的な面談・メンタリングへの参加と、面談記録の内容確認
- ・経営人材・企業とのマッチングイベントへの参加（可能な範囲で）
- ・成果発表会（デモデイ）での発表
- ・実績を確認する資料の提出

例：開発支援金の受領書・領収書、イベントの参加記録、経営人材や企業との連携（マッチングの成立、秘密保持契約の締結など）が確認できる資料、法人を設立した場合の履歴事項全部証明書の写し

- ・事業終了後のアンケート・追跡調査（法人の設立状況や成長状況など）への回答
- ・東京都が開催する成果報告会などへの協力（依頼があった場合）
- ・運営機関及び東京都が行う、本事業の内容・成果の公表や広報・PR への協力

10. 情報の取扱い

- ・採択者の氏名・所属・プロジェクトの概要などを、東京都に届け出ます。
- ・採択プロジェクトの概要や支援の状況は、東京都や本事業のウェブサイトなどで公表される場合があります。公表する内容は、事前に採択者に確認します。
- ・東京都に提出した資料は公文書として扱われ、情報公開の対象となる場合があります（個人情報に関する部分を除きます）。
- ・ご提供いただいた個人情報は、本事業の運営と東京都への報告の目的にのみ利用し、法令に従って適切に管理します。
- ・応募書類は、審査のために審査員・事務局の間で共有します。審査員・事務局は守秘義務を負います。

11. 運営体制

- ・運営機関：株式会社 rita
- ・協力機関：一般社団法人高専みらいデザイン Lab

【本件に関するお問い合わせ先】

高専研究シーズ社会実装・創業推進事業「KOSEN-BOOST」事務局

担当：野村 泰暉

Email：startup@kosenmirai-lab.or.jp

公式サイト： <https://ritaverse.com/kosen-boost>

高専研究シーズ社会実装・創業推進事業「KOSEN-BOOST」応募様式

1. 基本情報

プロジェクト名		
代表応募者	氏名	
	所属機関・役職	
連絡先	Email	
	電話番号	
所属高専との調整状況	☐ 了済済み ☐ 手続き中 ☐ 未着手（採択後に手続き）	

2. プロジェクトの概要

本プロジェクトが目指す社会実装やスタートアップ創業の全体像を、専門外の審査員にも伝わるよう 300 字程度で分かりやすく記載してください。

--

3. 解決したい社会課題とターゲット市場

本事業を通じて解決したい課題と、そのソリューションが求められる市場・顧客について記載してください。

(1) 解決したい課題 — 現状の社会や産業におけるどのような課題を解決しようとしているか

--

(2) 想定する顧客（ターゲット）と市場性 — 誰がこの技術・サービスにお金を払うか、あるいは必要としているか

--

4. 活用する研究シーズと独自性

ベースとなる高専での研究内容と、競合技術に対する優位性について記載してください。

(1) 研究シーズ・コア技術の概要 ― 事業の核となる技術やアイデアの仕組みを簡潔に記載

(2) 独自性と優位性（競合との違い） ― 既存の技術や製品・サービスと比較して、何が優れているのか（コスト、性能、新規性など）

5. チーム体制と熱意

本プロジェクトを推進するチーム体制と、代表者の社会実装・創業に向けた思いを記載してください。

(1) 実施体制（チームメンバー） ― 代表者を含め、学生、共同研究者、外部人材などがいる場合は役割を記載してください。

氏名	所属・役職等	役割

(2) 創業・社会実装への熱意（動機） ― なぜご自身（達）がこのプロジェクトをやるべきなのか、プロジェクトに向けた思いなどを自由に記載してください

6. 本事業での計画と資金使途

2026 年 12 月頃～2027 年 10 月頃（約 11 か月間）の本プログラム期間中における目標と、開発支援金等の活用イメージを記載してください。

(1) 本事業期間中の到達目標 ― プログラム終了時（2027 年 10 月頃）に、どこまでの状態を目指すか

例：プロトタイプの完成、テスト顧客〇社での実証実験完了、法人登記の完了 など

--

(2) 創業の予定

法人設立の予定時期	
本店（または支店）の所在地予定	☐ 東京都内（本店） ☐ 東京都内（支店） ☐ 未定（都内で検討）
想定する経営体制	

(3) 開発支援金の想定使途 — ざっくりとした内訳と使途のイメージを記載してください（厳密な見積書は不要です）。開発支援金の上限は 100 万円です。

費目	金額（万円）	備考
合計		—

(4) 他の研究費や支援金 — 申請中や見込みも含めて、ある方は記載してください

名称	支給元	金額	進捗

(5) KOSEN-BOOST に期待する支援 — 資金面以外で、メンタリングやマッチングにおいて特に支援してほしいこと（例：〇〇業界の企業とのマッチング、ビジネスモデル構築のアドバイス、知財戦略の壁打ち等）があれば記載してください

--

(6) プロジェクトにおける課題 — 資金・人材面などで課題に感じていることがあれば自由に記載してください。採択後の支援時には参考にさせていただきます。

--

7. 同意事項

☐ 募集要項の「9. 採択者をお願いすること」「10. 情報の取扱い」に同意します。

以上

※記入上の注意：

- ・ 図表や写真等を適宜貼り付けていただいて構いません。
- ・ 枠のサイズは自由に拡大・縮小し、記入してください。
- ・ 分量は全体で A4 サイズ 2～4 枚程度を目安とし、詳細なデータや補足は任意添付資料をご活用ください。
- ・ 募集要項に記入例を記載しておりますので、参考にしてください。

高専研究シーズ社会実装・創業推進事業「KOSEN-BOOST」応募様式（記入例）

1. 基本情報

プロジェクト名	超小型圧電センサーを用いた心不全増悪早期検知デバイスおよび遠隔モニタリングシステムの開発	
代表応募者	氏名	高専 太郎
	所属機関・役職	XX 工業高等専門学校 電子制御工学科 准教授
連絡先	Email	taro@xxx.kosen.ac.jp
	電話番号	080-0000-0000
所属高専との調整状況	手続き中（学科長に相談済み。採択後に兼業届を提出予定）	

2. プロジェクトの概要

本プロジェクトが目指す社会実装やスタートアップ創業の全体像を、専門外の審査員にも伝わるよう 300 字程度で分かりやすく記載してください。

本プロジェクトは、当研究室で開発した超高感度・超小型圧電膜センサー技術を活用し、自宅で装着するだけで心音および微小な生体振動を常時計測し、心不全の増悪（重症化）サインを事前検知するウェアラブルデバイスおよび解析システムを開発するものである。心不全患者の再入院を防ぎ、医療費抑制と患者の QOL 向上に貢献することを目的とし、プログラム期間中に POC（概念実証）プロトタイプを完成させ、東京都内に本店を置くスタートアップ企業の設立を目指す。

3. 解決したい社会課題とターゲット市場

本事業を通じて解決したい課題と、そのソリューションが求められる市場・顧客について記載してください。

(1) 解決したい課題 — 現状の社会や産業におけるどのような課題を解決しようとしているか

心不全は国内患者数が 120 万人を超え、退院後 1 年以内の再入院率が約 30% と非常に高いことが深刻な社会課題となっている。従来の体重・血圧管理だけでは増悪の兆候（肺うっ血や心音変化）を早期に捉えきれず、発見が遅れて緊急入院・重症化に至るケースが多い。早期兆候を日常的に非侵襲かつ正確に捉える手段の確立が強く求められている。

(2) 想定する顧客（ターゲット）と市場性 — 誰がこの技術・サービスにお金を払うか、あるいは必要としているか

直接の顧客（マネタイズ対象）：在宅医療に注力する循環器クリニック、訪問看護ステーション、心臓リハビリテーションを提供する医療機関。

エンドユーザー：慢性心不全の退院後患者、および心血管疾患のハイリスク高齢者。

市場性：国内の遠隔医療・在宅モニタリング市場は急速に拡大しており、心不全関連の医療費抑制ニーズ（年間数千億円規模の医療費削減インパクト）は極めて大きい。

4. 活用する研究シーズと独自性

ベースとなる高専での研究内容と、競合技術に対する優位性について記載してください。

(1) 研究シーズ・コア技術の概要 — 事業の核となる技術やアイデアの仕組みを簡潔に記載

高専で長年研究してきた「柔軟・高耐熱 PVDF 圧電フィルムの成形技術」および「高精度ノイズキャンセル信号処理アルゴリズム」をコア技術とする。衣服の上からでも微小な心音・心不全特有の III 音/IV 音（過剰心音）を高 S/N 比で連続取得できる超小型胸部装着型センサーアレイを構築している。

(2) 独自性と優位性（競合との違い） — 既存の技術や製品・サービスと比較して、何が優れているのか（コスト、性能、新規性など）

圧倒的な S/N 比と検出力：既存のスマートウォッチや家庭用血圧計では不可能な「心音の音響的微小変化（心不全増悪の初期徴候）」を非侵襲かつ自動で定量化できる。

日常負担ゼロの着脱設計：従来の多極心電図パッチと異なり、皮膚への刺激が少なく、連続使用が容易な構造を実現（特許出願を検討中）。

5. チーム体制と熱意

本プロジェクトを推進するチーム体制と、代表者の社会実装・創業に向けた思いを記載してください。

(1) 実施体制（チームメンバー） — 代表者を含め、学生、共同研究者、外部人材などがいる場合は役割を記載してください。

氏名	所属・役職等	役割
高専 太郎	XX 高専 電子制御工学科 准教授	プロジェクト統括、生体センサーハードウェア開発
技術 次郎	OX 高専 情報工学科 教授	信号処理アルゴリズム実装およびデータ解析担当
社会 三郎	OO 大学 電気電子工学科 修士 2 年 (技術 次郎 教授の研究室 OB)	研究サポート、筐体設計
理科 四郎	株式会社 OO 技術推進課 主任	ビジネスモデル検証、事業化

(2) 創業・社会実装への熱意（動機） — なぜご自身（達）がこのプロジェクトをやるべきなのか、プロジェクトに向けた思いなどを自由に記載してください

長年高専で培ってきた精密計測・電子回路技術を「一人の命を救う医療機器」として社会に還元したいという強い思いがある。研究室で生まれた技術を論文発表にとどめず、自ら起業し、世界中の心臓病患者とご家族に安心を届けたい。

6. 本事業での計画と資金使途

2026 年 12 月頃～2027 年 10 月頃（約 11 か月間）の本プログラム期間中における目標と、開発支援金等の活用イメージを記載してください。

(1) 本事業期間中の到達目標 — プログラム終了時（2027 年 10 月頃）に、どこまでの状態を目指すか

例：プロトタイプ完成、テスト顧客〇社での実証実験完了、法人登記の完了 など

2027 年 3 月：自宅で装着可能な臨床検証用プロトタイプデバイス（第 2 世代）の完成。
2027 年 7 月：協力医療機関（都内循環器クリニック）における模擬患者データを活用した計測精度実証。
2027 年 10 月：東京都内に本店を置く法人の設立完了。

(2) 創業の予定

法人設立の予定時期	2027 年 10 月
本店（または支店）の所在地予定	東京都内（本店）
想定する経営体制	本プログラムでマッチングした経営人材が CEO、高専 太郎が CTO を担う 想定

(3) 開発支援金の想定使途 — ざっくりとした内訳と使途のイメージを記載してください（厳密な見積書は不要です）。開発支援金の上限は 100 万円です。

費目	金額（万円）	備考
回路基板・センサーケース試作費	50	
ノイズ解析用アルゴリズム開発環境・クラウド構築費	30	
協力医療機関・専門家（薬事アドバイザー等）へのヒアリング謝金・旅費	20	
合計	100	—

(4) 他の研究費や支援金 — 申請中や見込みも含めて、ある方は記載してください

名称	支給元	金額	進捗
研究応援資金	XX 高専技術協力会	10 万円	給付済

XX 市ベンチャー補助金	XX 市役所	50 万円	申請中
若手奨励応援資金	公益財団法人 XX 財団	100 万円	申請中

(5) KOSEN-BOOST に期待する支援 ― 資金面以外で、メンタリングやマッチングにおいて特に支援してほしいこと（例：〇〇業界の企業とのマッチング、ビジネスモデル構築のアドバイス、知財戦略の壁打ち等）があれば記載してください

医療・ヘルスケア分野に強い経営人材（CEO/COO 候補）とのマッチング
公認会計士・弁護士による、都内創業・知財ライセンス契約のアドバイス
ベンチャーキャピタル（資金提供者）とのネットワーク構築支援

(6) プロジェクトにおける課題 ― 資金・人材面などで課題に感じていることがあれば自由に記載してください。採択後の支援時には参考にさせていただきます。

研究開発やハードウェア試作は研究室主導で推進可能ですが、将来的な医療機器認証（薬事申請）を見据えた開発ロードマップの策定や、事業化を加速させる経営人材（CEO/COO 候補）の獲得が最大の課題です。高専教員としての研究業務と並行してビジネス展開を強力に牽引できる、医療・ヘルスケア分野に知見のある事業パートナーとのマッチングを希望しています。

7. 同意事項

☒ 募集要項の「9. 採択者をお願いすること」「10. 情報の取扱い」に同意します。

以上

※記入上の注意：

- ・ 図表や写真等を適宜貼り付けていただいて構いません。
- ・ 枠のサイズは自由に拡大・縮小し、記入してください。
- ・ 分量は全体で A4 サイズ 2～4 枚程度を目安とし、詳細なデータや補足は任意添付資料をご活用ください。
- ・ 募集要項に記入例を記載しておりますので、参考にしてください。